

平成22年度

やまぐち森林づくりレポート

＝やまぐち森林づくり県民税関連事業実績報告＝



平成23年（2011年）12月

山 口 県

はじめに

緑豊かな森林は、きれいな水や空気を育み、県土を災害から守り、ふるさと山口の美しい景観を創り出すなど、県民生活に欠くことのできない多面的な機能を持っています。

また、近年では、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の吸収源としての機能など地球規模での環境保全に果たす役割にも大きな期待が寄せられています。

このかけがえのない森林は、これまで、林業生産活動など農山村の人々の営みの中で適切に管理されてきましたが、農山村の過疎化や高齢化、担い手の減少、木材価格の長期低迷など森林・林業を取り巻く社会環境が厳しさを増す中で、手入れが行き届かず荒廃した森林が増加し、森林の持つ多面的機能が十分に発揮されず、県民生活に支障をきたすことが強く懸念されています。

このため、山口県は、平成16年3月に、県民の皆様との協働の下に、本県の豊かな森林を次世代に引き継ぐことを目指した「やまぐち森林づくりビジョン」をお示しし、また、荒廃森林の再生などを支える財源として、平成17年4月に「やまぐち森林づくり県民税」を導入しました。この県民税関連事業の実施に当たっては、県民の皆様のご理解とご協力が不可欠です。

このため、「やまぐち森林づくり県民税」に関する年次報告として、毎年度、「やまぐち森林づくりレポート」を作成し、税の導入目的や県民税により実施している事業の内容、実績、効果などについて公表しています。

ぜひ、ご一読いただき、本県の豊かな森林づくりへの取り組みに、さらなるご理解をいただきますとともに、今後の事業の実施に当たって反映するため、皆様からのご意見をお寄せいただきますようお願いを申し上げます。

<お問い合わせ先>

山口県農林水産部森林企画課流域管理推進班

(電話番号) 083-933-3464 (FAX番号) 083-933-3479

(電子メール) a17700@pref.yamaguchi.lg.jp

目次

1	森林の果たしている役割	…………… p. 1
2	やまぐち森林づくり県民税の導入の経緯	…………… p. 2
3	やまぐち森林づくり県民税の概要	…………… p. 4
4	平成 22 年度やまぐち森林づくり県民税関連事業の実績及び税込実績	…………… p. 5
5	平成 22 年度税込不足額等の取り扱い	…………… p. 6
6	平成 22 年度県民税関連事業実施実績	…………… p. 7
7	事業の効果	…………… p. 23
8	全国の動向	…………… p. 26
◆	資料編	
1	平成 22 年度県民税関連事業実績	…………… p. 27
2	県民税関連事業実績	…………… p. 34
3	事業の効果	…………… p. 43
4	独自課税を活用した主な事業の内容（都道府県別）	…………… p. 47

1 森林の果たしている役割

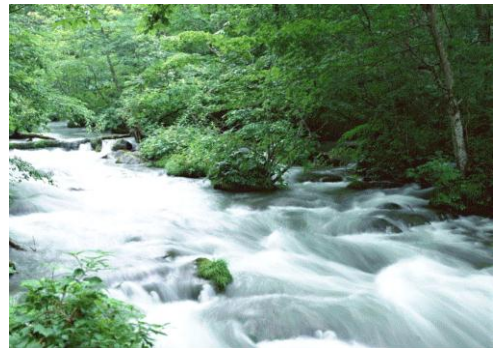
森林は、木材の生産のほかに、水源のかん養、県土の保全、地球温暖化の防止、快適な生活環境の保全などの多面的な機能を有しており、安全で快適な県民の暮らしを守っています。

○ 水源のかん養

森林内では、落葉・落枝などの堆積物や土壌生物が多く棲む表土がスポンジのような役割を果たし、大量の雨水はゆっくりと河川に流されて洪水を防ぎ、渇水時には貯蔵された水が少しずつ流れ出て渇水を緩和します。

○ 県土の保全

森林は、樹木の根を張り巡らせ、土壌をしっかり固定し、土壌の崩壊を防止するとともに、落葉や下草などによって地表が覆われているため、降雨等による土壌の浸食や流出を抑えています。



豊かな水を育む森林

○ 地球温暖化の防止

森林は、その成長の過程で光合成により、地球温暖化の主要な原因となっている二酸化炭素を吸収・固定しています。そして、二酸化炭素が固定された木材を利用することは、長期間にわたり、二酸化炭素の大気への放出を抑制することになります。

○ 快適な生活環境の保全

森林は、美しい景観の形成や憩いの場を提供するとともに、強風や騒音等から私たちを守る働きがあり、快適な生活環境の保全に貢献しています。

○ 生物多様性の保全

森林は、野生動植物に生息・生育する場を提供し、生態系や生物種、遺伝子の保全など、生物の多様性を保全する働きを持っています。

2 やまぐち森林づくり県民税の導入の経緯

(1) 山口県の森林・林業の現状と課題

山口県の森林面積は約 438 千㊦で、県土面積 611 千㊦の 72 ㊦を占めています。また、この森林の 85 ㊦は個人や企業等が所有している私有林で、私有林と市町有林等を合わせた民有林の面積は約 427 千㊦と、本県の森林の 97 ㊦を占めています。

この民有林の 44 ㊦は、スギ、ヒノキを中心とした人工林で、その面積は約 189 千㊦です。その多くは、第二次世界大戦時の大規模な伐採で荒廃した山を復興するために植栽されたものです。

近年、農山村の過疎化や高齢化、担い手の減少、また木材価格の長期低迷など林業を取り巻く経営環境の厳しさが増す中で、人工林を中心に荒廃した森林が増加し、水源のかん養や県土の保全など県民生活と密接に関わる森林の多面的な機能の発揮が懸念される状況となっています。この多面的機能の回復を図るため、



長期間放置され荒廃した森林（下草が枯れ、表土が流出し、樹木の根が露出している。）

荒廃した森林の緊急的な整備等を着実に進めるとともに、森林の果たす役割やその整備の重要性などについて県民理解を促進する取り組みなど、本県独自の新たな森林づくりを積極的に進めていくことが重要な課題となっています。

(2) 「やまぐち森林づくりビジョン」の策定

荒廃が深刻化する森林の現状や県民の森林に対する多様化、高度化するニーズを踏まえ、健全で豊かな森林を県民との協働により育み、次世代に引き継ぐための指針として、「やまぐち森林づくりビジョン」を策定し、平成 16 年 3 月に公表しました。

このビジョンでは、百年先の豊かな森林の創造に向け、人と森林の関わり方を考慮して、本県の民有林を「自然を守る森林」、「水と緑を育む森林」、「循環利用される森林」、「生



やまぐち森林づくりビジョン
(平成 16 年 3 月策定)

活環境を支える森林」の4つに区分し、多様な森林づくりを進める方向をお示ししています。また、このビジョンを着実に推進していくために、森林・林業施策の重点化とともに、新たな財源の必要性について提起しています。

(3) 新たな財源の検討

ビジョンの方向性を踏まえて、平成16年4月に、学識経験者や県民各界各層の委員で構成される「やまぐち森林づくり財源検討委員会」を設置し、財源に関する検討を行いました。この検討の結果として、森林の多面的な機能の恩恵を受けている県民の皆様幅広く負担していただくことが適当であるとの意見が示され、平成16年12月に報告書がまとめられて、県に提出されました。



藤井会長から報告書を提出
(平成16年12月24日)

(4) やまぐち森林づくり県民税の導入

財源検討委員会の報告を踏まえ、山口県は「やまぐち森林づくり県民税(案)」を公表しました。テレビやラジオ、県のホームページなど各種広報媒体を活用した広報活動、県内10箇所での県民説明会、森林シンポジウムの開催などによる周知を行うとともに、パブリックコメントやシンポジウムの実施時のアンケート調査など幅広い意見の聴取に努め、県議会での審議を経て、平成17年4月から平成21年度までの5年間を実施期間として「やまぐち森林づくり県民税」を導入することが決まりました。また、実施期間が満了する平成21年度には、県民税関連事業評価を公表し、広く県民の皆様の見解を頂くために、延べ16箇所における県民意見交換会やパブリックコメント、森林シンポジウムを開催するとともに、やまぐち森林づくり推進協議会のご意見をお伺いしながら見直しを行い、平成22年度から26年度までの5年間継続することが決定しました。



やまぐち森林づくりシンポジウムの開催
(平成21年11月29日)

3 やまぐち森林づくり県民税制度の概要

やまぐち森林づくり県民税は、現行の県民税均等割の税率に一定額を上乗せする方式をとっています。

なお、当初実施期間の最終年度である平成 21 年度に、税の導入効果を検証した上で、アンケートや意見交換会などで県民の皆様のご意見を伺いながら見直しを行った結果、実施期間を 5 年間延長することとなりました。

対象者	<p>【個人】 県内にお住まいの方等</p> <p>【法人】 県内に事務所、事業所を持っている法人等</p>																		
<p>税額</p> <p>(上乗せ額)</p>	<p>【個人】 年額:500 円</p> <p>【法人】 年額:1,000 円～40,000 円 (現行法人の県民税均等割の税率の 5 割相当額)</p> <table border="1" data-bbox="459 813 1369 1048"> <thead> <tr> <th>資本金等の金額</th> <th>現行均等割の税率</th> <th>5 割相当額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50 億円超</td> <td>年額 800,000 円</td> <td>40,000 円</td> </tr> <tr> <td>10 億円超～50 億円以下</td> <td>年額 540,000 円</td> <td>27,000 円</td> </tr> <tr> <td>1 億円超～10 億円以下</td> <td>年額 130,000 円</td> <td>6,500 円</td> </tr> <tr> <td>1 千万円超～1 億円以下</td> <td>年額 50,000 円</td> <td>2,500 円</td> </tr> <tr> <td>1 千万円以下</td> <td>年額 20,000 円</td> <td>1,000 円</td> </tr> </tbody> </table>	資本金等の金額	現行均等割の税率	5 割相当額	50 億円超	年額 800,000 円	40,000 円	10 億円超～50 億円以下	年額 540,000 円	27,000 円	1 億円超～10 億円以下	年額 130,000 円	6,500 円	1 千万円超～1 億円以下	年額 50,000 円	2,500 円	1 千万円以下	年額 20,000 円	1,000 円
資本金等の金額	現行均等割の税率	5 割相当額																	
50 億円超	年額 800,000 円	40,000 円																	
10 億円超～50 億円以下	年額 540,000 円	27,000 円																	
1 億円超～10 億円以下	年額 130,000 円	6,500 円																	
1 千万円超～1 億円以下	年額 50,000 円	2,500 円																	
1 千万円以下	年額 20,000 円	1,000 円																	
<p>納税方法</p>	<p>県民税均等割に上乗せして納めていただきます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(個人)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; margin: 0 auto;">給与所得者 (納税義務者)</div> <p>↓ 給与から天引き</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; margin: 0 auto;">雇用主 (特別徴収義務者)</div> <p>↓ 納入</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(個人)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; margin: 0 auto;">個人事業者等 (納税義務者)</div> <p>↓ 納税 (納税通知書)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(法人)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; margin: 0 auto;">法人 (納税義務者)</div> <p>↓ 申告納付</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 300px; text-align: center;">市町</div> <div style="font-size: 2em;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; text-align: center;">県</div> </div> <table border="1" data-bbox="427 1612 1369 1859" style="margin-top: 10px;"> <tbody> <tr> <td style="width: 20%;">給与所得者</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用主が給与から税を天引きします。 ・雇用主はとりまとめた税を市町に納入します。 ・市町はとりまとめた税を県に払い込みます。 </td> </tr> <tr> <td>個人事業者等</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・市町から送付される納税通知書によって納税します。 ・市町はとりまとめた税を県に払い込みます。 </td> </tr> <tr> <td>法人</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・県民税の申告納付の際に、均等割額に上乗せして納めます。 </td> </tr> </tbody> </table>	給与所得者	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用主が給与から税を天引きします。 ・雇用主はとりまとめた税を市町に納入します。 ・市町はとりまとめた税を県に払い込みます。 	個人事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ・市町から送付される納税通知書によって納税します。 ・市町はとりまとめた税を県に払い込みます。 	法人	<ul style="list-style-type: none"> ・県民税の申告納付の際に、均等割額に上乗せして納めます。 												
給与所得者	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用主が給与から税を天引きします。 ・雇用主はとりまとめた税を市町に納入します。 ・市町はとりまとめた税を県に払い込みます。 																		
個人事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ・市町から送付される納税通知書によって納税します。 ・市町はとりまとめた税を県に払い込みます。 																		
法人	<ul style="list-style-type: none"> ・県民税の申告納付の際に、均等割額に上乗せして納めます。 																		
<p>使途</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健全で多様な森林づくりの推進 ・県民との協働による森林づくりの推進 																		
<p>実施期間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 17 年度～平成 26 年度 																		

4 平成 22 年度やまぐち森林づくり県民税関連事業の実績及び税収実績

(1) 事業実績総括表

平成 22 年度については、やまぐち森林づくり県民税の税収額を 4 億 8 百万円と見込み、平成 19・20 年度における税収不足額 7 百万円を除いた額に、平成 21 年度剰余金 3 百万円を加えた約 4 億 4 百万円を事業費として、公益森林整備事業や竹繁茂防止緊急対策事業などの県民税関連事業を実施しました。

各種事業の実績は次表のとおりです。また、事業費については、事業実施の際の端数調整の結果として 1,031,410 円の残余となりました。

(事業費の単位 ; 円)

区分	平成 22 年度事業		5 年間 (H22 ~H26) の 整備目標	
	予算	決算見込 (注)		
健全で多様な森林づくりの推進 (ハード事業)				
公益森林整備事業	整備面積	400 ㍎	400.43 ㍎	2,000 ㍎
	事業費	203,000,000	202,802,010	
竹繁茂防止緊急対策事業	整備面積	150 ㍎	164.18 ㍎	600 ㍎
	再生竹除去面積	141 ㍎	140.82 ㍎	
	事業費	170,554,000	170,229,794	
魚つき保安林等 海岸林整備事業	整備面積	1 ㍎	1 ㍎	5 ㍎
	事業費	2,500,000	2,499,100	
豊かな森林づくり推進事業	事業費	15,000,000	14,586,000	—
県民との協働による森林づくりの推進 (ソフト事業)				
森林づくり活動支援事業	団体数	19 団体	19 団体	—
	事業費	7,852,000	7,836,812	
県民との協働による 百年の森づくり推進事業	事業費	5,000,000	4,920,874	—
事業費計		403,906,000	402,874,590	(剰余金) 1,031,410

(注) 11 月県議会で承認されて正式な決算額となるため、現時点では決算見込額となります。

(2) 税収実績等

平成 22 年度の税収実績は 406,627,555 円で、事業費充当額は当初見込額を 1,387,269 円下回りました。

(単位 ; 円)

区分	予算額 (①)	決算見込額 (②) (注 1)	増減 (②—①)
(1) 税収額	408,000,000	406,627,555	△1,372,445
(2) 平成 19 年度税収不足額 (注 2)	3,516,000	3,516,135	135
(3) 平成 20 年度税収不足額 (注 3)	3,430,000	3,429,501	△499
(4) 平成 21 年度剰余金 (注 4)	2,852,000	2,836,812	△15,188
(5)=(1)-(2)-(3)+(4) 事業費充当額	403,906,000	402,518,731	△1,387,269

(注 1) 11 月県議会で承認されて正式な決算額となるため、現時点では決算見込額となります。

(注 2) 平成 19 年度の税収額が事業費を 3,516,135 円下回ったので平成 22 年度に調整しました。

(注 3) 平成 20 年度の税収額が事業費を 3,429,501 円下回ったので平成 22 年度に調整しました。

(注 4) 平成 21 年度剰余金 3,215,358 円のうち 2,836,812 円を充当しました。

(3) 不足額について

平成 22 年度については、税収減収及び事業実施の際の端数調整の結果として、当初見込額を 355,859 円下回る結果となりました。

区分	金額	摘要
(1) 税収減収額	△1,387,269	
(2) 事業費剰余金	1,031,410	
(1)+(2) 不足額	△355,859	

5 平成 22 年度税収不足額等の取り扱い

前述のとおり、平成 22 年度の森林づくり県民税の税収決算見込額は、平成 22 年度の事業費を 355,859 円下回る結果となりましたが、現行の県民税の期間満了後（平成 27 年度以降）に納期が到来する税額として約 90 百万円の税収が見込まれますので、平成 27 年度において財源の調整を行うことにしています。

6 平成 22 年度県民税関連事業実施実績

(1) 健全で多様な森林づくりの推進（ハード事業）

公益森林整備事業、竹繁茂防止緊急対策事業など荒廃森林の再生のために実施を計画しているハード 4 事業については、いずれも当初計画を達成しました。

① 公益森林整備事業

荒廃したスギやヒノキの人工林を対象に本数率で 40 %以上を伐採し、針葉樹・広葉樹の混じり合った混交林へ誘導する本事業については、17 市町 427 箇所を実施し、当初計画どおり 400.43 ㌔の整備を行いました。

区分	計画	実績	達成率	摘要
整備面積	400.00 ㌔	400.43 ㌔	100 %	
事業費	203,000,000 円	202,802,010 円		

(注) 事業実績の詳細は資料編 p.27 を参照。

実施例 1

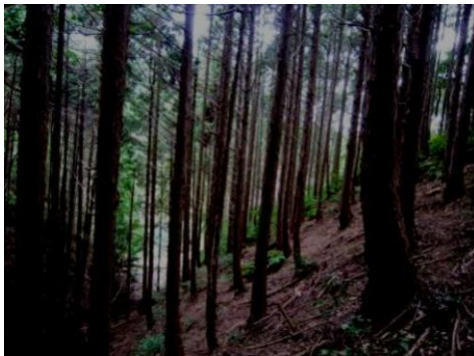
【概要】

場所	長門市西深川字杷ノ木
面積	1.85 ㌔
施行内容	スギ、ヒノキ 40 年生の強度間伐、林内の整理

(位置図)



(施行前)



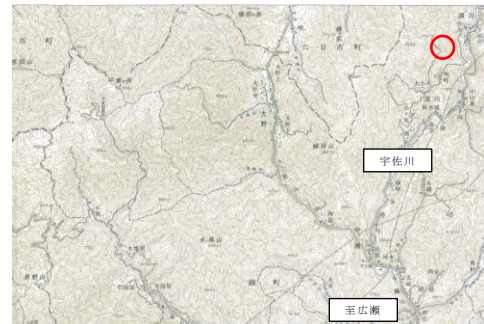
(施行後)



【概要】

場所	岩国市錦町深川字埵
面積	0.47 ㊦
施行内容	スギ 37 年生の強度間伐、林内の整理

(位置図)



(施行前)



(施行後)



② 竹繁茂防止緊急対策事業

水源地や公共施設、住宅地の周辺などにおける繁茂竹林を対象に、繁茂した竹の全伐と再生竹の除去を行い、自然林への回復を誘導する本事業については、16 市町 66 箇所を実施し、当初計画を上回る 164.18 ㊦の整備を行いました。

また、平成 22 年度には、平成 19 年度及び平成 20 年度に竹の全伐を行った箇所（17 市町 80 箇所；140.82 ㊦）について再生竹の除去を行いました。

区分	計画	実績	達成率	摘要
整備面積	150.00 ㊦	164.18 ㊦	109 パーセント	
再生竹除去面積	140.82 ㊦	140.82 ㊦	100 パーセント	
事業費	170,554,000 円	170,229,794 円		

(注) 事業実績の詳細は資料編 p.28 を参照。

実施例 1

【概要】

(位置図)

場所	萩市大字明木字野地
面積	4.52 ㊦
施行内容	スギ・広葉樹林に侵入した竹の伐採、林内整理



(施行前)

(施行後)



実施例 2

【概要】

(位置図)

場所	下関市大字植田字大浴
面積	5.40 ㊦
施行内容	再生竹の除去、林内整理



(施行前)

(2年後に発生した竹)

(施行後)



③ 魚つき保安林等海岸林整備事業

松くい虫や台風などの被害により荒廃が著しい魚つき保安林等の海岸林の整備について、1市1箇所を実施し、当初計画の1箇所の整備を行いました。

区分	計画	実績	達成率	摘要
整備面積	1.00 ㌥	1.00 ㌥	100 パーセント	
事業費	2,500,000 円	2,499,100 円		

(注) 事業実績の詳細は資料編 p. 29 参照。

実施例 1

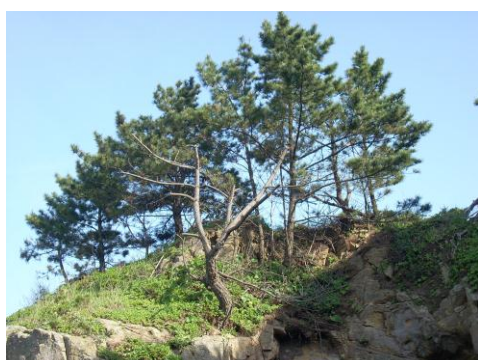
【概要】

場所	下関市豊北町阿川
面積	1.00 ㌥
施行内容	抵抗性きらら松植栽 歩道設置

(位置図)



(施行前)



(施行後)



④ 豊かな森林づくり推進事業

i) 公益森林整備事業地・竹繁茂防止緊急対策事業地のフォローアップ事業

植生の回復が遅い事業地を対象に広葉樹を植栽し、早期に針広混交林化、広葉樹林化を促進する本事業については、12市町28箇所を実施し、当初計画の10.50 ㌥の整備を行いました。

区分	計画	実績	達成率	摘要
整備面積	10.50 ㈬	10.50 ㈬	100 パーセント	公益森林整備事業地 17 箇所 6.00 ㈬ 竹繁茂防止緊急対策事業地 11 箇所 4.50 ㈬
事業費	—	6,819,750 円		

(注) 事業実績の詳細は資料編 p. 30 を参照。

ii) 地域特性を考慮した本県の独自課題へ対応するモデル事業

○耕作放棄地における竹繁茂対策

耕作放棄地に侵入した竹の全伐により、被害拡大を防止し、自然回復が期待できる森林に誘導するため、8市町8箇所を実施しました。

区分	計画	実績	達成率	摘要
整備面積	2.00 ㈬	2.15 ㈬	108 パーセント	・侵入した竹の全伐
事業費	—	2,424,450 円		

(注) 事業実績の詳細は資料編 p. 31 を参照。

○海岸地域における緑化対策

風害、潮害などを受けやすい海岸地域で、潮害等に強い樹種の植栽や海岸利用者に配慮した単木防風柵の設置など、無立木地の早期緑化を図るため、2市2箇所を実施しました。

区分	計画	実績	達成率	摘要
整備面積	1.00 ㈬	1.00 ㈬	100 パーセント	・抵抗性クロマツ、トベラ、マサキ等の植栽 ・利用者に配慮した単木防風柵の設置等
事業費	—	1,692,600 円		

(注) 事業実績の詳細は資料編 p. 31 を参照。

○荒廃したアカマツ林の再生対策

荒廃したアカマツ林において、抵抗性アカマツや痩せ地・乾燥に強い樹種を植栽し、筋状地拵えによる表土流出を抑制するなど、荒廃森林の早期回復を図るため、1市1箇所を実施しました。

区分	計画	実績	達成率	摘要
整備面積	2.00 ㈬	2.00 ㈬	100 パーセント	・抵抗性アカマツ、コナラ、ヤマボウシ等の植栽 ・表土流出を抑制する筋状地拵えの実施
事業費	—	2,545,200 円		

(注) 事業実績の詳細は資料編 p. 31 を参照。

○身近な森と緑を提供する自然公園の再生対策

県立自然公園においてササやクズが繁茂し、無立木地化している森林等を対象に修景伐や高木の広葉樹を植栽し、公園の機能を早期に回復するため、1市1箇所を実施しました。

区分	計画	実績	達成率	摘要
整備面積	1.00 ㌔	1.00 ㌔	100 パーセント	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤマザクラ、イロハモミジ等の植栽 ・自然景観を破壊しない修景伐の実施
事業費	—	924,000 円		

(注) 事業実績の詳細は資料編 p. 31 を参照。

実施例 1

【概要】

公益森林整備事業地
フォローアップ事業

(位置図)

場所	下関市菊川町大字上岡枝
面積	1.60
施行内容	公益森林整備事業地における広葉樹植栽等



(施行前)



◆シダ、ササ等が繁茂し植生の回復が遅れている事業地

(施行後)



◆シダ、ササ等を除去し、シダ、ササ等の影響を受けにくい大苗の広葉樹を植栽

実施例 2

【概要】 耕作放棄地における竹繁茂対策 (位置図)

場所	岩国市美和町北中山
面積	0.1 ㊦
施行内容	耕作放棄地に侵入した竹の伐採、林内整理



(施行前)

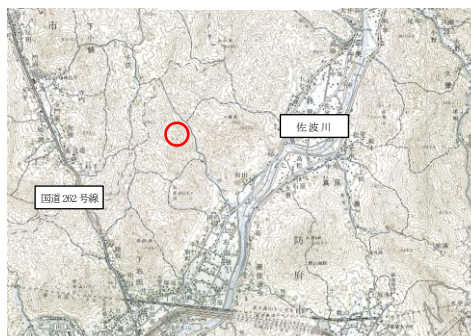
(施行後)



実施例 3

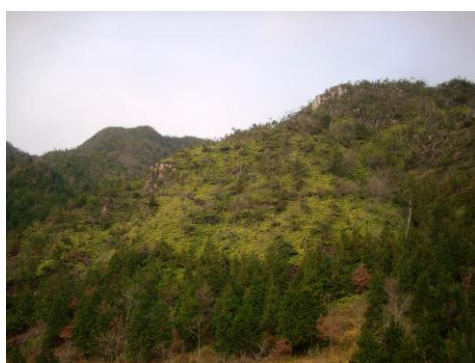
【概要】 荒廃したアカマツ林の再生対策 (位置図)

場所	防府市三谷
面積	2.00 ㊦
施行内容	筋状地拵え、抵抗性アカマツ植栽、肥料木植栽



(施行前)

(施行後)



(2) 県民との協働による森林づくりの推進（ソフト事業）

税制度の導入目的や内容などについて県民への一層の周知を図るとともに、具体的な税の使途について理解促進を図るため、各種の周知活動に取り組みました。

また、事業の実施に当たっては、県民の皆様のご意見をお聴きしながら進めるため、事業の進捗に合わせて「やまぐち森林づくり推進協議会」を開催し、ご意見を反映しながら進めました。

① 森林づくり活動支援事業

県民の森林づくり活動への参画を促進し、森林づくりへの理解をさらに高めるため、ボランティア団体等が地域のニーズに応じて取り組む自主的な森林づくり活動などの提案を公募し、申請のあった19団体について審査し、審査基準に適合し助成対象として適当であったため、森林づくり活動の支援を行いました。

支援内容は、チェーンソーや刈払機、鋸、鉋など森林整備活動を行うための資機材や植樹活動を行うための苗木等の資材の購入、地域住民や都市住民に森林づくりへの参加を促す交流会等の活動に対する支援です。

区分	計画	実績	達成率	摘要
支援団体	19 団体	19 団体	100 ٪	
事業費	7,853,000 円	7,836,812 円		


(注) 事業実績の詳細は資料編 p.32 を参照。

区分	団体名	活動内容
柳井市	竹林ボランティア柳井	竹林整備、交流活動（タケノコ掘り）
柳井市	シーズ	竹林整備、交流活動（植樹）
周南市	大道理地区百笑倶楽部	竹林整備、交流活動（植樹祭の開催）
周南市	鼓南なんでもやろう会	竹林整備、竹炭づくり
光市	竹林ボランティアまほろばの会	竹林整備、交流活動（タケノコ掘り）
山口市	宇津木の里	森林整備、交流活動（竹細工）
山口市	竹林ボランティア山口	竹林整備、交流活動（竹細工）
山口市	宮野竹親会	竹林整備、竹炭づくり
防府市	竹林ボランティア防府	竹林整備、交流活動（竹細工）
防府市	真尾自治会	被災地における広葉樹の植樹活動
防府市	こぶしの里牧場交遊会	森林整備、交流活動（植樹）
宇部市	竹林ボランティア厚東	竹林整備、交流活動（竹細工）
山陽小野田市	竹林ボランティア平沼田	竹林整備、竹炭づくり
美祢市	宇部美祢地域の里山を守る会	竹林整備、広葉樹植栽
下関市	きくがわ竹林ボランティア	竹林整備、竹炭づくり
下関市	稲見里山の会	森林整備、交流活動（植樹）
長門市	遊林クラブ	竹林整備、交流活動（木工教室）
萩市	萩里山応援隊「こもれび」	竹林整備、交流活動（竹細工）
萩市	萩竹文化再生塾	竹林整備、遊歩道の整備

実施例 1

団体名（市町）	大道理地区百笑倶楽部（周南市）
活動内容	竹林整備、交流活動（植樹祭の開催）
活動状況	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【竹林整備前の打ち合わせ】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【都市住民と一緒に植樹活動】</p> </div> </div>	

実施例 2

団体名（市町）	宇津木の里（山口市）
活動内容	森林整備、交流活動（竹細工）
活動状況	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【地元住民とヒノキを植栽】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【植樹の指導】</p> </div> </div>	

実施例 3

団体名（市町）	竹林ボランティア厚東（宇部市）
活動内容	竹林整備、交流活動（竹細工教室）
活動状況	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【伐採した竹の整理】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【小学生を対象としたミニ門松教室の開催】</p> </div> </div>	

実施例 4

団体名（市町）	萩竹文化再生塾（萩市）
活動内容	竹林整備、遊歩道の整備
活動状況	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【整備した竹林】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【整備した遊歩道】</p> </div> </div>	

② 周知活動

県民への一層の周知を図るため、「やまぐち森林づくりフェスタ」の開催や公益森林整備事業や竹繁茂防止緊急対策事業などの事業地を活用したイベントの開催など各種活動を実施し、制度の導入目的や内容などの周知を行いました。

また、平成 22 年 6 月に行われた「県政世論調査」の結果では、森林づくり県民税の周知率は 31.0 ٪となっています（調査対象；県内に在住する 20 歳以上の男女 3,000 人；有効回収数；1,851 人、回収率；61.7 ٪）。

実施例 1

パネル等を活用した広報活動



【県庁エントランスホール】



【農・蓄・林 試験研究ウォッチング】



【きらら物産フェア】



【やまぐちフラワーランド】

(注) 周知活動の概要は資料編 p. 33 を参照。

やまぐち森林づくりフェスタの開催

- 1 開催日時：平成 22 年 5 月 9 日（日曜日） 午前 9 時 30 分から午後 3 時まで
- 2 開催場所：山口市阿知須（山口きらら博記念公園）
- 3 来場者数：約 22,000 人



【式典会場（1,000 人のメッセージ）】



【阿知須小学校児童による森林づくり宣言】



【全国植樹祭 PR 看板紹介】



【ドングリの種まき】



【人工降雨体験】



【木工体験】

（注）森林づくりフェスタの開催状況は資料編 p.40 を参照。

③ やまぐち森林づくり推進協議会の開催

県民税関連事業の実施に当たっては、県民の皆様のご意見を反映させるため、有識者や公募委員など 13 名により構成される「やまぐち森林づくり推進協議会」を事業の導入に併せて設置し、その意見等をお聴きしながら事業を実施しています。

委員の任期は 2 年で、平成 22 年度においては事業の進捗に合わせ、計 3 回の協議会を開催しました。

(協議会における意見と事業等への反映例)

- ① 大雪により、主要道路沿線での竹の折損等により通行障害を起こしたり、中国自動車道沿線にも侵入竹が目立っている。こうした箇所を特に整備して行くことも必要ではないか。
→ 道路管理者など関係者との協議・調整を行い整備を実施。
- ② 森林づくり活動支援事業の対象となる団体の範囲については、自治会なども含め窓口を広げてもらいたい。
→ 各地域の審査基準に適合した幅広い団体を助成対象とし、防府市の自治会も支援。
- ③ 支援事業を受けた団体は、その活動の報告が必要ではないか。
→ 全ての助成対象団体へ、写真を含む活動報告を義務付け。

実施例 1

(やまぐち森林づくり推進協議会の開催状況)



【協議の状況】



【協議の状況】

(注) 協議会の概要は資料編 p. 33 を参照。

④ モデル林等の活用

公益森林整備事業や竹繁茂防止緊急対策事業の内容や効果を県民の皆様に周知し、理解していただくために、平成18年度までに公益森林整備事業、竹繁茂防止緊急対策事業のそれぞれについて県内16箇所（平成17年度；各8箇所、平成18年度；各8箇所）にモデル林の設置を行っています。

また、モデル林や事業実施箇所を活用したタケノコ採りなどの各種参加行事を行い、年間延べ1,335名の参加を得ました。

実施例1

モデル林の設置状況（現況）



【公益森林整備事業のモデル林】



【竹繁茂防止緊急対策事業のモデル林】

事業地を活用した取り組み



【公益森林整備事業地の間伐材を利用した木工教室】



【竹繁茂防止緊急対策事業地を活用したタケノコ採りのPRイベント】

（注）モデル林の設置箇所は資料編 p. 41 を参照。

④ 報道発表など

各種事業の実施時期などに合わせたプレスリリース（計18回）を行い、パブリシティーを通じた周知にも努めました。新聞報道は延べ20回、テレビでの報道は延べ14回です。



松かさやドングリ、木の枝を使ったオブジェ作りを楽しむ家族連れ



全国植樹祭をPRする大看板の前で二井関成知事（中央）らとドングリの種をまく子どもたち

森林づくりの輪広がれ！

きらら博記念公園 フェスタに2万2千人

やまぐち森林づくり県民一大切さに理解を深める「やまぐち」が9日、山口市阿知須税を適用した事業や森林の「まぐち森林づくり」フェスタを、きらら博の山口きらら博記念公園で開催した。6回目今回は12年春、同公園と山口市主催。

念公園であり、これまで最も多い家族連れら約2万人（主催者発表）が森の恵みと触れ合った。山口県と山口市主催。フェスタは2009年度から県内各地を巡回し、山口市での開催は初めて。6

園があるきらら博で開かれた全国植樹祭のPRも合わせて開かれた。「森林（もり）」新たな発見。をテーマに、関係団体によるワークショップ、木工・竹細工教室など見たり食したり体験できる約110のイベントがあった。

木の葉を使ったクラフト工房教室では、子どもたちが保護者や方を巻きつけて松かさやドングリ、木の枝などを使ったオブジェ作りを楽しんだ。山陽小野田市須恵小学校3年の小嶋陽菜さん（9）は、森の中でドングリが

リがかくればはしている牙プシエを作ったという。難しかったけど楽しい。家に飾りたい」と喜んだ。開会式で二井関成知事は、05年度に6年間の期限で導入した森林づくり県民税を本年度から延長したことも再来年春の全国植樹祭を紹介し、「森林づくりに新たな発見をして、これからは森林づくりのポテンシャル活動などに参加してほしい。これまで以上に森林を好きになって、このきらら博から森林づくりの輪が大きく広がることを願う」と呼び掛けた。

12年全国植樹祭PR看板を披露

グリも種まき

2011年春に山口市阿知須きらら博で開かれる全国植樹祭をPRする巨大看板が、9日に同所の山口きらら博記念公園であった「やまぐち森林づくりフェスタ」で披露された。

看板は全長約27メートル、高さ1・8メートル、地元のアじサイ保育園と阿知須幼稚園の子どもたち165人が動物や昆虫が集まる「楽しい森」を元気に描き描き

やまぐち森林づくりフェスタの様子を伝える新聞報道
(平成22年5月10日)

7 事業の効果

やまぐち森林づくり県民税は、森林整備を目的とする税として、平成 16 年 3 月に公表した「やまぐち森林づくりビジョン」に掲げる「県民との協働による健全で豊かな森林づくり」を具体化するため、幅広い議論を経て、平成 17 年 4 月から導入された制度です。

また、税の導入に当たっては、全ての県民がその恵沢を享受している水源のかん養、県土の保全、生活環境の保全、その他の森林の有する多面にわたる機能が持続的に発揮されることの重要性に鑑み、森林の整備に関する費用に充てることとされています。

このような制度の導入経緯を踏まえ、事前効果については、①森林の持つ多面的な機能の持続的な発揮の観点からの評価や、②県民の皆様の理解や参加の促進の状況を公表し、「やまぐち森林づくり推進協議会」や県議会をはじめとした幅広い意見をお聴きしながら、今後の取り組みに反映して、県民の皆様の幅広い理解と参加の下、森林づくりビジョンの目指す本県の健全で豊かな森林づくりを進めることとしています。

(1) 健全で多様な森林づくりの推進（ハード事業）

① 定点観測の実施

森林の持つ多面的な機能を持続的に発揮させるためには、荒廃した森林が「公益森林整備事業」や「竹繁茂防止緊急対策事業」によって着実に再生することが必要条件であるため、これらの事業地から調査地を選定し、平成 18 年度から森林環境の変化を追跡調査し事業効果の検証を行っています。

i) 公益森林整備事業

森林の特性に合わせて、平成 17 年度事業地から 8 箇所、19 年度事業地から 8 箇所を選定し、詳細な調査を実施するとともに、平成 20 年度に実施した人工降雨調査箇所 9 箇所を加え、25 箇所の定点ポイントを設けて森林の再生状況などについて調査を実施しています。

ii) 竹繁茂防止緊急対策事業

流域毎に 3 箇所、県下で 12 箇所の事業地に定点ポイントを設けて、再生竹の発生や竹林の枯損、森林の再生状況などについて調査を実施しています。

公益森林整備事業地の定点観測（平成 17 年度事業地）



【事業実施 1 年後の状況】



【事業実施 5 年後の植生の回復状況】

竹繁茂防止緊急対策事業地の定点観測（平成 17 年度事業地）



【事業実施 1 年後の状況】



【事業実施 5 年後の広葉樹等の回復状況】

（注）調査内容等の詳細は資料編 p. 43 を参照。

(2) 県民参加の下に行う豊かな森林づくり

健全で豊かな森林づくりは全県的かつ長期的な取り組みが不可欠であり、このためには県民の皆様の理解と参加が重要です。

このため、県民税導入 6 年目である平成 22 年度においては、税制度の導入目的や内容などについて県民の皆様への一層の周知を図るとともに、具体的な税の用途について理解促進を図るため、森林づくりフェスタの開催や県内各地での周知イベントの実施など各種の周知活動に取り組みました。

平成 22 年 6 月に行われた「県政世論調査」の結果では、森林づくり県民税の

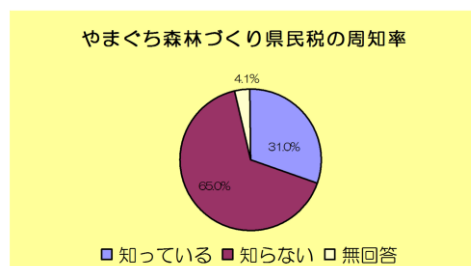
周知率は 31.0 ٪であり、県民の約 3 人に 1 人の割合で周知が図られていることが推測されます。

今後とも、「県政世論調査」を継続して実施し、定期的な周知度の把握に努めるとともに、周知活動に反映することとしています。

実施例 1

1 調査概要

- (1) 調査地域…山口県全域
- (2) 調査対象…県内に在住する 20 歳以上の男女 3,000 人
- (3) 調査時期…平成 22 年 6 月 4 日～6 月 21 日
- (4) 回収数…有効回収数(率)
1,851 人(61.7 ٪)



2 「知っている」と回答した人の内訳

- (1) 男女別…男性；37.9 ٪、女性；25.2 ٪
- (2) 年代別…20 代；10.0 ٪、30 代；13.2 ٪、40 代；20.1 ٪、50 代；31.8 ٪、60 代；42.6 ٪、70 歳以上；39.8 ٪、
- (3) 職業別…農林漁業；57.1 ٪、商工サービス・自由業；21.9 ٪、管理職；38.6 ٪、事務職・専門技術職；27.6 ٪、技能職・労務職；23.0 ٪、主婦・主夫；26.8 ٪、学生；9.1 ٪、無職；37.8 ٪
- (4) 広域生活圏
…岩国地域；31.4 ٪、柳井地域；41.3 ٪、周南地域；31.7 ٪、山口・防府地域；34.4 ٪、宇部・小野田地域；26.4 ٪、下関地域；24.0 ٪、長門地域；41.1 ٪、萩地域；38.0 ٪

(注) 調査内容等の詳細は資料編 p. 46 を参照。

(3) 経済波及効果等

平成 22 年度森林づくり県民税関連事業の実施による経済波及や雇用の効果の推計は次表のとおりで、森林づくりを担う中山間地域の活性化に寄与しています。

区分	効果	摘要
経済波及効果	6.4 億円	山口県産業関連表により試算
雇用効果	延べ 19,500 人	

引き続き、このような経済波及効果等の発揮とともに、モデル林や事業実施箇所を活用したイベントの開催などにより、交流人口の拡大にも取り組むことで、中山間地域の活性化への寄与も期待されます。

8 全国の動向

森林環境の保全などを目的とした独自の税の導入は、平成 15 年度に高知県が導入して以降、平成 16 年度に岡山県が、平成 17 年度には山口県を含む 6 県が導入しています。その後、全国的に取り組みが広がっており、平成 21 年度までに 30 県が導入し、平成 22 年度には宮城県が新たに導入し、現在、全国で 31 県が導入しています。

これらの独自課税を活用した事業の内容をみると、全国的な課題である間伐を推進する事業をはじめ、針広混交林等への誘導を図る事業、県民参加の森林づくり活動を支援する事業など、それぞれの地域が抱える課題に対応して、森林整備等を推進するための事業を展開しています。

(注) 税導入県の主な事業の内容は資料編 p. 47 を参照。

資料編

1 平成 22 年度県民税関連事業実績

(1) 健全で多様な森林づくりの推進（ハード事業）

① 公益森林整備事業

	区分	箇所数	面積 (㌔)	事業費 (円)	摘要
岩国	岩国市	103	104.23	53,944,290	
	和木町	2	1.48	765,160	
	小計	105	105.71	54,709,450	
柳井	柳井市	4	2.56	1,328,640	
	周防大島町	6	1.66	861,540	
	上関町	—	—	—	
	平生町	1	0.33	171,270	
	小計	11	4.55	2,361,450	
周南	周南市	65	68.46	35,870,540	
	下松市	12	7.54	4,056,780	
	光市	10	4.25	2,142,000	
	田布施町	2	1.27	648,330	
	小計	89	81.52	42,717,650	
山口 防府	山口市	38	52.94	25,844,300	
	防府市	—	—	—	
	小計	38	52.94	25,844,300	
宇部 小野田	宇部市	7	3.92	1,912,960	
	山陽小野田市	1	1.03	502,640	
	美祢市	73	51.28	25,024,640	
	小計	81	56.23	27,440,240	
下関	下関市	32	27.35	13,684,380	
	小計	32	27.35	13,684,380	
長門	長門市	10	15.13	7,583,940	
	小計	10	15.13	7,583,940	
萩	萩市	42	51.22	25,353,900	
	阿武町	19	5.78	2,861,100	
	小計	61	57.00	28,215,000	
事務費（注）				245,600	
計		427	400.43	202,802,010	

（注）事務費の内訳；旅費（175,000円）、需用費（59,600円）、役務費（11,000円）。

② 竹繁茂防止緊急対策事業（竹の全伐）

	区分	箇所数	面積 (㍍ ²)	事業費 (円)	摘要
岩国	岩国市	7	13.60	13,137,600	
	和木町	—	—	—	
	小計	7	13.60	13,137,600	
柳井	柳井市	2	5.00	5,817,000	
	周防大島町	1	1.00	1,785,000	
	上関町	—	—	—	
	平生町	1	4.50	5,670,000	
	小計	4	10.50	13,272,000	
周南	周南市	8	24.42	18,228,000	
	下松市	1	1.70	955,500	
	光市	2	6.62	7,245,000	
	田布施町	—	—	—	
	小計	11	32.74	26,428,500	
山口 防府	山口市	5	13.03	8,484,000	
	防府市	1	3.11	1,312,500	
	小計	6	16.14	9,796,500	
宇部 小野田	宇部市	5	7.30	3,532,437	
	山陽小野田市	2	3.40	2,278,500	
	美祢市	12	20.60	11,240,250	
	小計	19	31.30	17,051,187	
下関	下関市	7	21.43	20,248,200	
	小計	7	21.43	20,248,200	
長門	長門市	6	15.55	15,225,000	
	小計	6	15.55	15,225,000	
萩	萩市	5	18.02	14,397,600	
	阿武町	1	4.90	8,295,000	
	小計	6	22.92	22,692,600	
調査費等 (注)				13,762,757	
計		66	164.18	151,614,344	

(注) 調査費等の内訳；旅費 (203,458 円)、需用費 (80,009 円)、役務費 (29,840 円)、委託料 (13,449,450 円)。

③ 竹繁茂防止緊急対策事業（再生竹の除去）

区分		箇所数	面積 (㍍ ²)	事業費 (円)	摘要
岩国	岩国市	2	2.77	357,000	
	和木町	—	—	—	
	小計	2	2.77	357,000	
柳井	柳井市	1	2.75	315,000	
	周防大島町	1	0.84		
	上関町	—	—	—	
	平生町	3	3.52	1,102,500	田布施町含む
	小計	5	7.11	1,417,500	
周南	周南市	10	18.45	2,738,400	
	下松市	2	2.00	745,500	
	光市	2	4.89	199,500	
	田布施町	4	4.01	(注)	平生町に計上
	小計	18	29.35	3,683,400	
山口 防府	山口市	8	11.71	1,753,500	
	防府市	4	6.85	1,015,350	
	小計	12	18.56	2,768,850	
宇部 小野田	宇部市	4	4.60	573,300	
	山陽小野田市	3	4.74	505,050	
	美祢市	8	14.83	1,319,850	
	小計	15	24.17	2,398,200	
下関	下関市	8	21.44	2,840,250	
	小計	8	21.44	2,840,250	
長門	長門市	8	13.90	1,470,000	
	小計	8	13.90	1,470,000	
萩	萩市	9	17.71	2,945,250	
	阿武町	3	5.81	735,000	
	小計	12	23.52	3,680,250	
計		80	140.82	18,615,450	

(注) 柳井市、周防大島町、平生町、田布施町は地域性を考慮して一括発注としています。

④ 魚つき保安林等海岸林整備事業

区分		所在地	面積 (㍍ ²)	事業費 (円)	事業内容
下関	下関市	豊北町阿川	1.00	2,480,100	・抵抗性きさらぎ松植栽 ・作業歩道設置
事務費				19,000	
計				2,499,100	

(注) 事務費の内訳；旅費（10,000円）、需用費（9,000円）。

⑤ 豊かな森林づくり推進事業

i) 公益森林整備事業地・竹繁茂防止緊急対策事業地のフォローアップ事業

区分	所在地	面積(㊦)	事業費(円)	摘要	
岩国	岩国市	大字二鹿	0.10	651,000	公益
	岩国市	錦町大字広瀬	0.10		公益
	岩国市	美和町大字日宛	0.10		公益
	岩国市	大字行波	0.40		竹繁茂
	小計		0.70	651,000	
柳井	柳井市	大字日積	0.30	567,000	竹繁茂、田布施町含む
	小計		0.30	567,000	
周南	周南市	大字清尾	0.10	70,350	公益
	周南市	大字金峰	0.10		公益
	光市	大字小周防	0.10	126,000	公益
	光市	大字塩田	0.60		竹繁茂
	田布施町	大字麻郷	0.10	(注)	公益、柳井市に計上
	小計		0.90	196,350	
山口 防府	山口市	阿東徳佐下	0.20	98,700	公益
	山口市	阿東嘉年上	0.70		竹繁茂
	小計		0.90	98,700	
宇部 小野田	宇部市	大字芦河内	0.10	183,750	公益
	山陽小野田市	大字厚狭	0.20		公益
	美祢市	於福町下	0.20	793,800	竹繁茂
	美祢市	秋芳町秋吉	0.60		竹繁茂
	小計		1.10	977,550	
下関	下関市	菊川町大字上岡枝	1.60	2,675,400	公益
	下関市	豊北町大字北字賀	0.20		公益
	下関市	豊北町大字北字賀	0.50		公益
	下関市	豊田町大字浮石	0.40	299,250	竹繁茂
	下関市	豊北町大字北字賀	0.60		竹繁茂
	小計		3.30	2,974,650	
長門	長門市	俵山	0.80	577,500	公益
	長門市	深川湯本	0.50		公益
	小計		1.30	577,500	
萩	萩市	川上	0.10	294,000	公益
	萩市	川上	0.50		竹繁茂
	萩市	大字紫福	0.10		竹繁茂
	萩市	大字弥富下	1.10	483,000	公益
	萩市	大字高佐下	0.10		竹繁茂
	小計		1.90	777,000	
計			6.00	6,819,750	公益
			4.50		竹繁茂

(注) 田布施町、柳井市は地域性を考慮して一括発注としています。

ii) 地域特性を考慮した本県の独自課題へ対応するモデル事業

○耕作放棄地における竹繁茂対策

区分		所在地	面積(㊦)	事業費(円)	事業内容
岩国	岩国市	美和町北中山	0.22	157,500	侵入竹の全伐
柳井	周防大島町	大字西三蒲	0.42	521,850	
周南	周南市	大字湯野	0.40	254,100	
山口防府	山口市	仁保上郷	0.22	420,000	
宇部小野田	美祢市	秋芳町大字青景	0.12	106,050	
下関	下関市	豊田町大字奎路子	0.26	317,100	
長門	長門市	日置中	0.16	299,250	
萩	萩市	大字福井下	0.35	348,600	
計			2.15	2,424,450	

○海岸地域における緑化対策

区分		所在地	面積(㊦)	事業費(円)	事業内容
周南	下松市	笠戸島	0.70	914,550	筋状地拵え、抵抗性マツ・カクレミノ・クスノキ等植栽
宇部 小野田	宇部市	西岐波	0.30	778,050	抵抗性マツ・トベラ・マサキ等植栽、単木防風柵設置
計			1.00	1,692,600	

○荒廃したアカマツ林の再生対策

区分		所在地	面積(㊦)	事業費(円)	事業内容
山口 防府	防府市	三谷	2.00	2,545,200	筋状地拵え、抵抗性マツ・コナラ・ヤマボウシ等植栽
計			2.00	2,545,200	

○身近な森と緑を提供する自然公園の再生対策

区分		所在地	面積(㊦)	事業費(円)	事業内容
山口 防府	山口市	徳地	1.00	924,000	修景伐採、ヤマザクラ・イロハモミジ等植栽
計			1.00	924,000	

豊かな森林づくり推進事業事務費 180,000円

(注) 事務費の内訳 ; 旅費 (70,000円)、需用費 (96,000円)、役務費 (14,000円)。

(2) 県民との協働による森林づくりの推進（ソフト事業）

① 森林づくり活動支援事業

区分		団体名	面積 (ヘクタール)	補助金(円)	事業内容
柳井	柳井市	竹林ボランティア 柳井	0.59	434,922	竹林整備、交流活動 (タケノコ掘り)
	柳井市	シーズ	1.10	406,643	竹林整備、交流活動 (植樹)
周南	周南市	大道理地区 百笑倶楽部	0.30	500,000	竹林整備、交流活動 (植樹祭の開催)
	周南市	鼓南 なんでもやろう会	0.10	240,000	竹林整備、竹炭づくり
	光市	竹林ボランティア まほろばの会	0.10	424,300	竹林整備、交流活動 (タケノコ掘り)
山口 防府	山口市	宇津木の里	0.25	328,000	森林整備、交流活動 (竹細工)
	山口市	竹林ボランティア 山口	0.95	400,000	竹林整備、交流活動 (竹細工)
	山口市	宮野竹親会	0.50	500,000	竹林整備、竹炭づくり
	防府市	竹林ボランティア 防府	1.28	500,000	竹林整備、交流活動 (竹細工)
	防府市	真尾自治会	0.10	500,000	被災地における広葉樹 の植樹活動
	防府市	こぶしの里 牧場交遊会	0.20	415,000	森林整備、交流活動 (植樹)
宇部 小野田	宇部市	竹林ボランティア 厚東	0.30	300,000	竹林整備、交流活動 (竹細工教室)
	山陽小野田市	竹林ボランティア 平沼田	2.00	471,955	竹林整備、竹炭づくり
	美祢市	宇部美祢地域の里 山を守る会	0.10	316,192	竹林整備、広葉樹植栽
下関	下関市	きくがわ 竹林ボランティア	0.15	500,000	竹林整備、竹炭づくり
	下関市	稲見里山の会	1.50	500,000	森林整備、交流活動 (植樹)
長門	長門市	遊林クラブ	0.20	400,000	竹林整備、交流活動 (木工教室)
萩	萩市	萩里山応援隊 「こもれび」	0.10	346,800	竹林整備、交流活動 (竹細工)
	萩市	萩竹文化再生塾	0.30	353,000	竹林整備、遊歩道の整備
計		(19 団体)		7,836,812	

② 周知活動

区分	数量	対象者等
県政放送等		
テレビ（元気です！山口）	1回（11月21日）	一般県民
VOD やまぐち（インターネット）	掲載中	一般県民
広報誌（ふれあい山口）	2回（5月号・7月号）	県内全世帯
各種イベントの開催		
森林づくりフェスタ	1回（5月9日）	一般県民
地域行事	19回（9月～11月）	一般県民
モデル林等の活用		親子等
広報ツール		
パネル展示		一般県民
森林づくりレポート		一般県民
県政出前トーク	1回（4月）	一般県民

③ やまぐち森林づくり推進協議会の開催

i) やまぐち森林づくり推進協議会委員

区分	氏名	所属・職名	
会長	学識経験者 藤井 大司郎	山口大学経済学部教授	
委員	学識経験者 浮田 正夫	山口大学名誉教授	
	経済団体 冷泉 憲一	山口県商工会議所連合会専務理事	
		磯 昭正	山口県商工会連合会副会長
	消費者団体 中山 光江	山口県消費者団体連絡協議会幹事	
		山本 和子	山口県地域消費者団体連絡協議会顧問
	公募委員 藤木 幸三	NPO 法人環境みらい下関事務局長	
		久保 孝文	会社役員
		荒木 陽子	美祢市立秋吉台科学博物館学芸委員
	森林・林業関係者 木村 誠	山口県林業研究グループ連絡協議会会長	
		藤井 キクエ	山口県農山漁村女性連携会議会長
		園田 秀則	NPO 法人やまぐち里山人ネットワーク理事長
市町関係者 山下 敏彦	周南市いのち育む里づくり部長		

ii) 開催状況

開催日	開催場所	開催内容
平成 22 年 6 月 4 日（金）	県庁共用第 3 会議室	平成 22 年度事業の実施計画の協議
平成 22 年 9 月 8 日（水）	県庁共用第 4 会議室	平成 21 年度事業の実績報告の協議
平成 23 年 3 月 25 日（金）	県庁共用第 2 会議室	平成 23 年度事業計画等の協議

2 県民税関連事業実績

(1) 公益森林整備事業実績

(単位：箇所、ヘクタール)

区分		平成 22 年度	計	
岩国	岩国市	箇所数	(103)	(103)
		事業量	104.23	104.23
	和木町	箇所数	(2)	(2)
		事業量	1.48	1.48
	小計	箇所数	(105)	(105)
		事業量	105.71	105.71
柳井	柳井市	箇所数	(4)	(4)
		事業量	2.56	2.56
	周防大島町	箇所数	(6)	(6)
		事業量	1.66	1.66
	上関町	箇所数	(－)	(－)
		事業量	－	－
	平生町	箇所数	(1)	(1)
		事業量	0.33	0.33
	小計	箇所数	(11)	(11)
		事業量	4.55	4.55
周南	周南市	箇所数	(65)	(65)
		事業量	68.46	68.46
	下松市	箇所数	(12)	(12)
		事業量	7.54	7.54
	光市	箇所数	(10)	(10)
		事業量	4.25	4.25
	田布施町	箇所数	(2)	(2)
		事業量	1.27	1.27
	小計	箇所数	(89)	(89)
		事業量	81.52	81.52

(単位：箇所、トン)

区分		平成 22 年度		計
山口 防府	山口市	箇所数	(38)	(38)
		事業量	52.94	52.94
	防府市	箇所数	(-)	(-)
		事業量	-	-
	小計	箇所数	(38)	(38)
		事業量	52.94	52.94
宇部 小野田	宇部市	箇所数	(7)	(7)
		事業量	3.92	3.92
	山陽小野田市	箇所数	(1)	(1)
		事業量	1.03	1.03
	美祢市	箇所数	(73)	(73)
		事業量	51.28	51.28
	小計	箇所数	(81)	(81)
		事業量	56.23	56.23
下関	下関市	箇所数	(32)	(32)
		事業量	27.35	27.35
	小計	箇所数	(32)	(32)
		事業量	27.35	27.35
長門	長門市	箇所数	(10)	(10)
		事業量	15.13	15.13
	小計	箇所数	(10)	(10)
		事業量	15.13	15.13
萩	萩市	箇所数	(42)	(42)
		事業量	51.22	51.22
	阿武町	箇所数	(19)	(19)
		事業量	5.78	5.78
	小計	箇所数	(61)	(61)
		事業量	57.00	57.00
計	箇所数	(427)	(427)	
	事業量	400.43	400.43	

(2) 竹繁茂防止緊急対策事業実績

① 竹の全伐

(単位：箇所、 m^2)

区分			平成 22 年度	計
岩国	岩国市	箇所数	(7)	(7)
		事業量	13.60	13.60
	和木町	箇所数	(-)	(-)
		事業量	-	-
	小計	箇所数	(7)	(7)
		事業量	13.60	13.60
柳井	柳井市	箇所数	(2)	(2)
		事業量	5.00	5.00
	周防大島町	箇所数	(1)	(1)
		事業量	1.00	1.00
	上関町	箇所数	(-)	(-)
		事業量	-	-
	平生町	箇所数	(1)	(1)
		事業量	4.50	4.50
	小計	箇所数	(4)	(4)
		事業量	10.50	10.50
周南	周南市	箇所数	(8)	(8)
		事業量	24.42	24.42
	下松市	箇所数	(1)	(1)
		事業量	1.70	1.70
	光市	箇所数	(2)	(2)
		事業量	6.62	6.62
	田布施町	箇所数	(-)	(-)
		事業量	-	-
	小計	箇所数	(11)	(11)
		事業量	32.74	32.74

(単位：箇所、千円)

区分		平成 22 年度		計
山口 防府	山口市	箇所数	(5)	(5)
		事業量	13.03	13.03
	防府市	箇所数	(1)	(1)
		事業量	3.11	3.11
	小計	箇所数	(6)	(6)
		事業量	16.14	16.14
宇部 小野田	宇部市	箇所数	(5)	(5)
		事業量	7.30	7.30
	山陽小野田市	箇所数	(2)	(2)
		事業量	3.40	3.40
	美祢市	箇所数	(12)	(12)
		事業量	20.60	20.60
	小計	箇所数	(19)	(19)
		事業量	31.30	31.30
下関	下関市	箇所数	(7)	(7)
		事業量	21.43	21.43
	小計	箇所数	(7)	(7)
		事業量	21.43	21.43
長門	長門市	箇所数	(6)	(6)
		事業量	15.55	15.55
	小計	箇所数	(6)	(6)
		事業量	15.55	15.55
萩	萩市	箇所数	(5)	(5)
		事業量	18.02	18.02
	阿武町	箇所数	(1)	(1)
		事業量	4.90	4.90
	小計	箇所数	(6)	(6)
		事業量	22.92	22.92
計		箇所数	(66)	(66)
		事業量	164.18	164.18

② 再生竹の除去

(単位：箇所、 m^2)

区分		平成 22 年度		計
岩国	岩国市	箇所数	(2)	(2)
		事業量	2.77	2.77
	和木町	箇所数	(-)	(-)
		事業量	-	-
	小計	箇所数	(2)	(2)
		事業量	2.77	2.77
柳井	柳井市	箇所数	(1)	(1)
		事業量	2.75	2.75
	周防大島町	箇所数	(1)	(1)
		事業量	0.84	0.84
	上関町	箇所数	(-)	(-)
		事業量	-	-
	平生町	箇所数	(3)	(3)
		事業量	3.52	3.52
	小計	箇所数	(5)	(5)
		事業量	7.11	7.11
周南	周南市	箇所数	(10)	(10)
		事業量	18.45	18.45
	下松市	箇所数	(2)	(2)
		事業量	2.00	2.00
	光市	箇所数	(2)	(2)
		事業量	4.89	4.89
	田布施町	箇所数	(4)	(4)
		事業量	4.01	4.01
	小計	箇所数	(18)	(18)
		事業量	29.35	29.35

(単位：箇所、トン)

区分		平成 22 年度		計
山口 防府	山口市	箇所数	(8)	(8)
		事業量	11.71	11.71
	防府市	箇所数	(4)	(4)
		事業量	6.85	6.85
	小計	箇所数	(12)	(12)
		事業量	18.56	18.56
宇部 小野田	宇部市	箇所数	(4)	(4)
		事業量	4.60	4.60
	山陽小野田市	箇所数	(3)	(3)
		事業量	4.74	4.74
	美祢市	箇所数	(8)	(8)
		事業量	14.83	14.83
	小計	箇所数	(15)	(15)
		事業量	24.17	24.17
下関	下関市	箇所数	(8)	(8)
		事業量	21.44	21.44
	小計	箇所数	(8)	(8)
		事業量	21.44	21.44
長門	長門市	箇所数	(8)	(8)
		事業量	13.90	13.90
	小計	箇所数	(8)	(8)
		事業量	13.90	13.90
萩	萩市	箇所数	(9)	(9)
		事業量	17.71	17.71
	阿武町	箇所数	(3)	(3)
		事業量	5.81	5.81
	小計	箇所数	(12)	(12)
		事業量	23.52	23.52
計	箇所数	(80)	(80)	
	事業量	140.82	140.82	

(3) 魚つき保安林等海岸林整備事業実績

圏域	市町名	所在地	面積 (<small>ヘクタール</small>)	整備 年度	整備内容
下関	下関市	豊北町阿川	1.00	H22	抵抗性きらら松植栽 作業歩道設置
計	1市		1.00		

(4) 県民との協働による森林づくりの推進（ソフト事業）

① 森林づくりフェスタの開催状況

開催年度	開催場所	来場者数
平成 17 年度	下関市深坂自然の森	2,500 人
平成 18 年度	周南市和田小・中学校グラウンド	3,000 人
平成 19 年度	宇部市常盤公園湖水ホール	4,000 人
平成 20 年度	岩国市錦帯橋そば 吉香公園鶉飼い広場	12,000 人
平成 21 年度	萩市中央公園	9,000 人
平成 22 年度	山口市阿知須 山口きらら博記念公園	22,000 人

(5) モデル林の設置状況

① 公益森林整備事業のモデル林

i) 平成 17 年度設置箇所

番号	場所	面積 (㊦)	摘要
1	岩国市錦町広瀬字中ノ迫	1.63	ヒノキ
2	柳井市日積字北戸石	0.25	ヒノキ
3	周南市大字須々万本郷字鹿堀	0.76	ヒノキ
4	山口市上宇野令字一ノ谷	2.45	スギ・ヒノキ
5	山陽小野田市大字山川字立原	0.51	ヒノキ
6	下関市大字植田字丑ヶ浴	0.20	スギ・ヒノキ
7	長門市油谷伊上字下畑東	3.00	スギ・ヒノキ
8	萩市大字紫福字西ヶ佐古	0.80	スギ・ヒノキ

ii) 平成 18 年度設置箇所

番号	場所	面積 (㊦)	摘要
1	岩国市錦町大野字大浴	4.14	スギ・ヒノキ
2	柳井市日積字上的場	0.55	ヒノキ
3	周南市大字高瀬字清水ヶ浴	0.37	スギ・ヒノキ
4	山口市小郡上郷字木船下	5.20	スギ・ヒノキ
5	美祢市伊佐町堀越字笹尾	1.34	ヒノキ
6	下関市豊田町大字殿敷字羽山ヶ浴	1.46	スギ・ヒノキ
7	長門市深川湯本字井出ヶ迫	3.31	スギ・ヒノキ
8	萩市川上字平内	0.77	スギ・ヒノキ

② 竹繁茂防止緊急対策事業のモデル林

i) 平成 17 年度設置箇所

番号	場所	面積 (㊦)	摘要
1	岩国市大字行波字野地	0.83	モウソウチク
2	柳井市日積字小田	0.74	モウソウチク
3	周南市大字湯野字郷谷	5.58	モウソウチク
4	山口市宮野下字門前	0.91	モウソウチク
5	宇部市大字小野字柿名ヶ迫	2.96	モウソウチク
6	下関市大字植田字丑ヶ浴	2.18	モウソウチク
7	長門市油谷久富字水神	0.62	マダケ
8	山口市阿東嘉年上字水出	1.34	マダケ

ii) 平成 18 年度設置箇所

番号	場所	面積 (㊦)	摘要
1	岩国市玖珂町字前植山	0.42	モウソウチク
2	田布施町大字大波野字道河内	0.87	モウソウチク
3	下松市大字来卷字大蔵	0.51	モウソウチク
4	山口市阿知須字後河内	0.64	モウソウチク
5	美祢市美東町赤字中原	0.86	モウソウチク
6	下関市豊北町滝部字青木ヶ原	0.67	マダケ
7	長門市日置上字河原田	3.71	モウソウチク
8	萩市大字明木字上ノ芝	2.05	モウソウチク

3 事業の効果

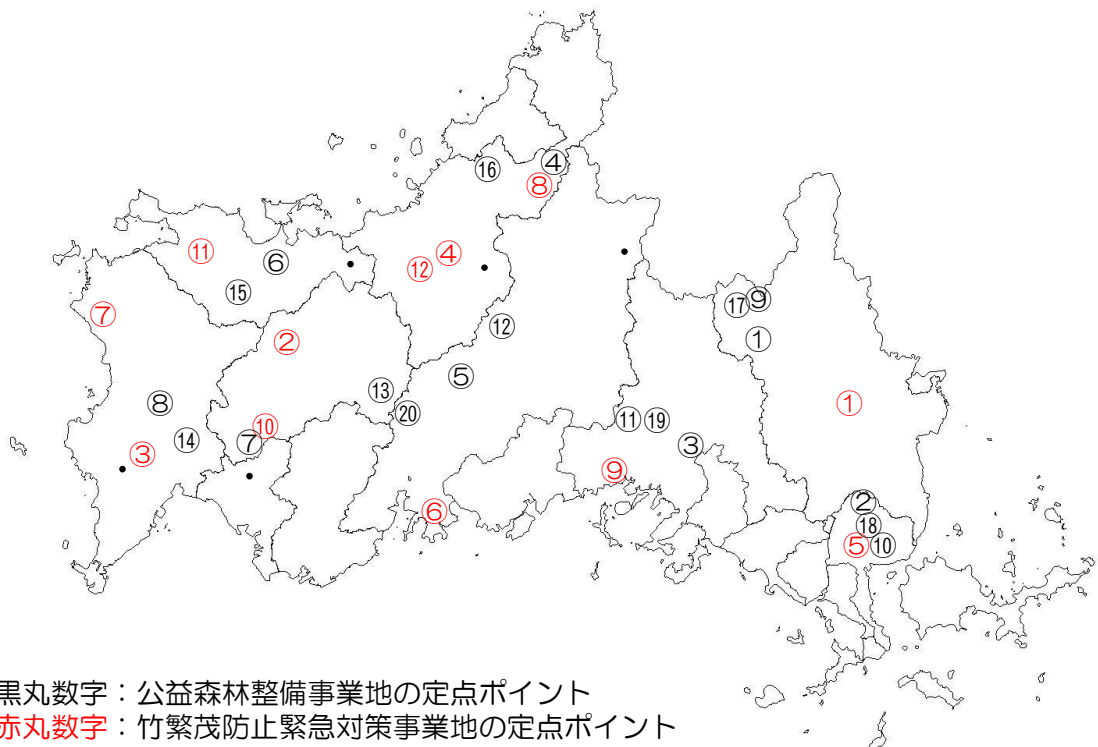
(1) 森林の持つ多面的な機能の回復

① 定点観測の調査内容等

事業名	調査項目	調査内容
公益森林整備事業	針広混交林への誘導効果	①地況調査（調査区の地形・地質等） ②上層木調査（強度間伐実施後の上層木成長経過） ③混広林化調査（広葉樹の侵入状況と成長経過） ④光環境調査（林内相対照度の変化）
	水土保全機能の回復効果	①土壌被覆率調査（下層植生等による土壌被覆率の経年変化）
竹繁茂防止緊急対策事業	竹皆伐による森林再生効果	①地況調査（調査区の地形・地質等） ②森林再生調査（広葉樹の侵入状況と成長経過）
	水土保全機能の回復効果	①土壌被覆率調査（下層植生等による土壌被覆率の経年変化）

(注) 調査は県農林総合技術センター林業技術部及び農林事務所森林部が実施。

② 調査位置図



③ 調査箇所

i) 公益森林整備事業

番号	局所	所在地	樹種	面積 (ha)	事業 年度	調査 開始 年度
①	山腹凹斜面	岩国市錦町大字広瀬	スギ・ヒノキ	5.21	17	18
②	山脚堆積面	柳井市大字伊陸	スギ	0.55	17	18
③	山腹平衡斜面	周南市大字須々万	ヒノキ	2.30	17	18
④	山脚堆積面	萩市大字片俣	スギ・ヒノキ	2.33	17	18
⑤	山腹平衡斜面	山口市上字野令	ヒノキ	2.01	17	18
⑥	山腹平衡斜面	長門市深川湯本	スギ・ヒノキ	6.39	17	18
⑦	山腹凸斜面	美祢市西厚保町	ヒノキ	2.30	17	18
⑧	山腹平衡斜面	下関市菊川町大字上岡枝	スギ・ヒノキ	3.31	17	18
⑨	山腹平衡斜面	岩国市錦町大字大野字猪ノ木谷	ヒノキ	0.42	19	19
⑩	山腹凸斜面	柳井市大字日積ムネヶ浴	ヒノキ	0.25	19	19
⑪	山腹平衡斜面	周南市大字夏切字才兼	ヒノキ	0.21	19	19
⑫	山腹平衡斜面	山口市阿東篠目	ヒノキ	1.25	19	19
⑬	山腹平衡斜面	美祢市美東綾木	ヒノキ	0.30	19	19
⑭	山腹凸斜面	下関市菊川町大字下保木河内雨久保	ヒノキ	0.24	19	19
⑮	山腹平衡斜面	長門市俵山字西山	ヒノキ	0.25	19	19
⑯	山腹平衡斜面	萩市大字紫福字猪鹿谷	ヒノキ	1.00	19	19
⑰	山腹凸斜面	岩国市錦町大野字栗ヶ浴	スギ・ヒノキ	3.52	17	20
⑱	山腹平衡斜面	柳井市伊陸字大峰	スギ・ヒノキ	2.46	18	20
⑲	山腹平衡斜面	周南市大字大道理字畑	ヒノキ	1.38	17	20
⑳	山腹平衡斜面	山口市小郡上郷字木船下	スギ・ヒノキ	5.20	17	20
㉑	山腹凸斜面	山口市徳地柚木字四ノ谷	ヒノキ	0.46	17	20
㉒	山腹凹斜面	山陽小野田市大字山川字立原	ヒノキ	0.51	17	20
㉓	山腹平衡斜面	下関市大字内日上字石原	ヒノキ	0.15	17	20
㉔	山腹平衡斜面	長門市三隅上字日尾	スギ	1.59	17	20
㉕	山腹平衡斜面	萩市川上字平内	ヒノキ	0.77	18	20

ii) 竹繁茂防止緊急対策事業

番号	流域	所在地	種類	面積 (ha)	事業 年度	調査 開始 年度
①	岩徳	岩国市大字行波	モウソウチク	0.83	17	18
②	山口	美祢市於福下	モウソウチク	0.78	17	18
③	豊田	下関市大字植田	モウソウチク	2.18	17	18
④	萩	萩市川上	モウソウチク	1.37	17	18
⑤	岩徳	柳井市柳井字河瀬	モウソウチク	0.72	19	19
⑥	山口	山口市秋穂東南道祖	モウソウチク	0.97	19	19
⑦	豊田	下関市豊北町大字神田上字作尻	モウソウチク	0.69	19	19
⑧	萩	萩市高佐字河内下	モウソウチク	2.69	19	19
⑨	岩徳	周南市大字福川字岡山	モウソウチク	0.79	17	20
⑩	山口	美祢市東厚保町山中字浴口	モウソウチク	0.80	18	20
⑪	豊田	長門市油谷新別名字柿の木	マダケ	0.62	17	20
⑫	萩	萩市大字明木字野地	モウソウチク	2.05	18	20

(2) 県政世論調査の結果

① やまぐち森林づくり県民税の認知状況

(単位；%)

区分		知っている	知らない	無回答	摘要
総数		31.0	65.0	4.1	
広域生活圏別	岩国地域	31.4	67.4	1.1	
	柳井地域	41.3	52.0	6.7	
	周南地域	31.7	65.2	3.0	
	山口・防府地域	34.4	61.6	4.0	
	宇部・小野田地域	26.4	70.0	3.6	
	下関地域	24.0	72.9	3.1	
	長門地域	41.1	54.3	4.7	
	萩地域	38.0	55.9	6.1	
性別	男性	37.9	58.4	3.7	
	女性	25.2	71.0	3.9	
年代別	20代	10.0	89.6	0.4	
	30代	13.2	84.1	2.7	
	40代	20.1	78.2	1.8	
	50代	31.8	66.3	1.9	
	60代	42.6	54.9	2.5	
	70歳以上	39.8	51.9	8.3	
職業別	農林漁業(家族従事者)	57.1	37.2	5.7	
	商工サービス・自由業	21.9	75.5	2.6	
	管理職	38.6	51.0	10.3	
	事務職・専門技術職	27.6	71.9	0.5	
	技能職・労務職	23.0	74.8	2.2	
	主婦・主夫	26.8	70.1	3.1	
	学生	9.1	90.9	0.0	
	無職	37.8	56.1	6.0	

② やまぐち森林づくり県民税で行っている事業の内容について

(単位；%)

区分	知っている	知らない	無回答	摘要
総数	70.7	28.5	0.8	

(注) 調査は県農林総合技術センター林業技術部及び農林事務所森林部が実施。

③ 森林の持っている働きについて

(単位；%)

区分	知っている	知らない	無回答	摘要
総数	91.0	4.6	4.4	

4 独自課税を活用した主な事業の内容（都道府県別）

県名	税の名称 (通称)	主な事業内容	導入 年度
高知県	森林環境税	若齢林を中心とした間伐の促進による荒廃の予防と公益的機能を発揮できる森林の整備、森林環境教育など県民の主体的な森林保全の取組への支援など	H15
岡山県	おかやま森づくり県民税	未整備森林の間伐や松くい虫被害木の除去等による荒廃した森林の再生・整備、新規就業者の研修支援、県産材等森林資源の利用促進、企業との協働による森林保全活動など	H16
鳥取県	森林環境保全税	針広混交林化を図るための強度な間伐の実施、保安林の機能強化（間伐・作業道支援）、竹林の適正管理、企画提案による森づくりへの参加を促す森林体験等への支援など	H17
島根県	島根県水と緑の森づくり税	重要な水源地域等の10年以上間伐未実施の人工林における協定に基づく不要木の伐採等、県民自らが企画・立案した森づくりの取組への支援など	H17
山口県	やまぐち森林づくり県民税	森林のもつ多面的な機能の回復が必要な荒廃した人工林を対象とした強度間伐の実施による針広混交林への誘導、繁茂拡大した竹の伐採等による荒廃森林の再生など	H17
愛媛県	森林環境税	河川流域の森林の強度間伐による針広混交林等への誘導、公共施設等における地域材利用への助成、県民が自発的に取り組む森林の利活用等への支援など	H17
熊本県	水とみどりの森づくり税	間伐未実施で放置された人工林における協定に基づく強度間伐の実施による針広混交林化の促進、森林ボランティア活動への総合的な支援など	H17
鹿児島県	森林環境税	公益上重要な森林等における間伐等の実施や荒廃竹林の整備、県民が自ら実施する森林・林業の学習・体験活動、県産材を用いた木造施設整備等への支援など	H17
岩手県	いわての森林づくり県民税	公益上重要で緊急に整備が必要な森林における協定に基づく強度間伐の実施による針広混交林への誘導、地域住民等による森林を守り育む活動等への支援、森林環境学習の推進など	H18
福島県	森林環境税	荒廃が懸念される水源区域における間伐等の実施、市町村への交付金による森林づくり、県産間伐材利用・森林環境学習・森林ボランティア活動の促進など	H18
静岡県	もり森林づくり県民税	公益性が高いが森林所有者による整備が困難なために荒廃している森林の整備（人工林の強度の伐採による針広混交林化、竹林の広葉樹林化、広葉樹林の適正密度化）など	H18
滋賀県	琵琶湖森林づくり県民税	奥地等の放置された人工林における強度間伐の実施による針広混交林への誘導及び森林現況調査等の実施、県産材の積極的な利用等の普及啓発など	H18
兵庫県	県民緑税	急傾斜地等の人工林の防災機能を高めるための間伐木を利用した土留工の設置、集落裏山の防災機能を高めるための森林整備と併せた簡易防災施設の設置など	H18
奈良県	森林環境税	10年以上間伐未実施で緊急に整備が必要な人工林について協定に基づく強度間伐の実施、荒廃した里山林の整備、森林環境教育の推進など	H18
大分県	森林環境税	災害発生等が懸念される荒廃した人工林における協定に基づく強度間伐による針広混交林への誘導、ボランティア活動や担い手の支援、県産材利用促進など	H18
宮崎県	森林環境税	公益上重要で長期間放置された森林において実施する広葉樹の植栽や強度間伐による針広混交林への誘導、森林ボランティア団体・企業等の森林づくり活動や市町村による公有林化への支援など	H18
山形県	やまがた緑環境税	公益上重要な荒廃した人工林を対象とした強度間伐の実施による針広混交林への誘導、荒廃した里山林の再生、市町村や県民が実施する森づくりや自然環境の保全活動への支援など	H19
神奈川県	水源環境保全・再生のための個人県民税	水源地域の保全上重要な森林の買入れや整備協定など県による私有林の公的管理・支援、間伐材の搬出促進、市町村が行う私有林の公的管理・支援への助成など	H19

県名	税の名称 (通称)	主な事業内容	導入 年度
富山県	水と緑の森づくり税	風雪被害林や過密人工林で整理伐の実施による針広混交林への誘導、県民協働による里山林整備、森林ボランティア活動支援、森林環境教育の推進、県産材利用促進など	H19
石川県	いしかわ森林環境税	水源地域等の手入れが不足した人工林を対象とした強度間伐の実施による針広混交林への誘導、県民の理解と参加による森づくりの推進など	H19
和歌山県	紀の国森づくり税	放置され荒廃した森林の公益的機能の回復、森林の重要性の普及啓発など NPO や市町村等地域からの自発的な取組への支援など	H19
広島県	ひろしまの森づくり県民税	放置され荒廃した緊急に整備が必要な人工林の間伐等の実施、里山林の整備、NPO 等の自らの企画・取組や森林・林業体験活動への支援など	H19
長崎県	ながさき森林環境税	重要な水源林である「ながさき水源の森」を対象とした手入れ不足の人工林における間伐の実施による針広混交林への誘導、風倒被害林の伐採・整理、県民参加による森林づくり活動の支援など	H19
秋田県	秋田県水と緑の森づくり税	生育の思わしくないスギ人工林の針広混交林への誘導、環境教育の場として利用するための里山林の整備、松くい虫被害を受けた松林の整備、県民提案による森づくり活動への支援など	H20
茨城県	森林湖沼環境税	荒廃した森林のうち水源かん養機能等を高度に発揮すべき森林における間伐の実施、平地林・里山林の整備、県産材利活用の推進、県民協働による森林づくりの推進など	H20
栃木県	とちぎの元気な森づくり県民税	公益的機能の発揮が求められているにもかかわらず荒廃している人工林における強度間伐の実施、人家等周辺の里山林の整備、県民による森林づくり活動への支援など	H20
長野県	長野県森林づくり県民税	集落周辺の里山林における間伐の実施や、間伐を推進するための地域主体の取組への支援、人材育成を行う事業者への支援、市町村の森林づくり施策への支援など	H20
福岡県	森林環境税	長期間放置され荒廃した人工林の間伐、伐採後植林しないまま放置されている林地への広葉樹の植栽、ボランティア団体・NPO 等による森林づくり活動への支援など	H20
佐賀県	佐賀県森林環境税	荒廃した人工林の強度間伐による針広混交林への誘導、市町による荒廃した森林等の公有林化による管理の推進、県民等による荒廃した森林を再生する取組への支援など	H20
愛知県	あいち森と緑づくり税	奥地や公道沿いなど林業活動では整備が困難な森林の間伐、県民や地域との協働によるモデル的な里山林の整備、都市の貴重な樹林地の公有化による保全など	H21
宮城県	みやぎ環境税	二酸化炭素吸収源として森林機能強化を図るための間伐の実施、林地残材等の木質バイオマス利用促進や公共施設等の木質化の推進、県民参加型の植樹支援など（検討中）	H23

(注) 森林・林業白書（平成 23 年版）より引用。

レポートに関するお知らせ

- 1 このレポートについては、県民の皆様幅広く周知し、今後の取り組みについてのご意見やご提言を反映することとしています。
- 2 このレポートについては、県民局、県農林事務所及び各市町において閲覧することができます。また、県ホームページにも掲載していますのでご覧ください。
ホームページ ; <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a17700/index/>
- 3 このレポートについては、県広報誌「ふれあい山口」や、市町・森林組合広報誌などによる周知や、県・市町の施設やイベント等でのパネル展示などにより、県民の皆様幅広く周知することとしています。

◆お問い合わせ先◆

山口県農林水産部森林企画課流域管理推進班

(電話番号) 083-933-3464 (FAX 番号) 083-933-3479

(電子メール) a17700@pref.yamaguchi.lg.jp